

令和 6 年度第 4 回日野町地域公共交通会議 会議議事録

令和 6 年 11 月 28 日（木）

14 時 30 分～16 時 00 分

日野町役場 3 階 301・302 会議室

出席委員

国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局、滋賀県土木交通部交通戦略課、滋賀県東近江土木事務所、日野町区長会、日野町身体障害者更生会、社会福祉法人日野町社会福祉協議会、一般社団法人滋賀県バス協会、近江鉄道株式会社鉄道部（委員代理）、近江鉄道株式会社自動車部、近江タクシー株式会社、日野町副町長、日野町政策監、日野町総務主監、日野町産業建設主監、日野町厚生主監、日野町教育委員会事務局教育次長

事務局

交通環境政策課

欠席委員

東近江警察署交通課

日野町教育委員会教育長

日野町老人クラブ連合会

議事要旨

1. 開会

2. 協議事項

（1）交通空白地自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の実証実験実施について

自家用有償旅客運送の必要性、区域、対価、事業者協力型自家用有償旅客運送を行うこと、その他について事務局より説明。

・日野町は町域全体に公共交通があり、空間的公共交通空白地は限られている。しかし、近

江鉄道バスが運行していない地域においては、早朝夜間の時間帯や土日祝日について町営バスの本数が限られている、または無いため時間帯によって公共交通空白地となる。

- ・バスは近江鉄道バス、町営バスがあるが運行区域が限られているほか、町営バスについては土曜日の運行が少なく、日祝は運休である。チョイソコひのは土日祝運休である。タクシーは地域住民に日常的には利用されておらず、平日日中のみの待機となっている。
- ・多くの地域で土日祝日の移動に課題があり、この解決に向けたものとしてチョイソコひの資源を活用した公共ライドシェアの実証実験運行を実施する。
- ・今回の実証実験はチョイソコひのコールセンターや予約システム、車両、ドライバーを活用し土日祝日の日中で実施する。
- ・運送形式は事業者協力型自家用有償旅客運送、運送主体は日野町、運行様態は区域運行（日野町全域）、運行時間は土日祝日の8時から17時、旅客の範囲は日野町に在住する住民、観光旅客その他来訪する者、利用料金は1乗車1,000円（小学生、障がい者、障がい者の介助者は半額）とする。
- ・スキームは「わたむき自動車プロジェクト」推進協議会の事業として取り組むが、運送法上の主体は日野町とする。

【意見・質問】

○副会長

- ・町営バスの土曜日そのまま走るということで相違ないか。

○事務局

- ・そのとおり。

○副会長

- ・委託料の考え方であるが、委託金額は土日祝日も同額ということで良いか。また、運賃収入はどちらに入るのか。

○事務局

- ・契約自体は別であるが、金額はそのとおり。運賃収入は、事業者を支払う委託料から相殺される。

○副会長

- ・料金は土日も今のチョイソコと一緒に 200 円にしたほうが良いのではないかと考える。

○委員

- ・11 ページの料金表は、料金を 1,000 円に設定した目安ということでよいのか。ここからここまでしか使えないという意味ではないということの良いか。

○事務局

- ・そのとおり。

○会長

- ・今のチョイソコの停留所間の移動で利用できるということによいか。

○事務局

- ・そのとおり。

○会長

- ・副会長からも意見があったが、改めて 1,000 円に設定した理由を問う。

○事務局

- ・自家用有償旅客運送の実証実験であり、将来的な可能性も踏まえ、公に示されている目安での料金設定を行った。その中で確認、検討を行いたい。日祝も含め新たな交通システムで運行すると新たな負担も発生するため、自家用有償旅客運送の実証実験をしたいという主旨である。

○委員

- ・現状、町営バスは土曜日もあって、チョイソコは金曜日まで。今後、桜谷にチョイソコを拡大するのに、なぜ土曜日のチョイソコを運行しないのか、なぜライドシェアなのか、説得力がない。明確にわかる根拠はあるか。

○事務局

- ・現状チョイソコが走っているのが平日 8 時から 17 時、ここは町営バスをチョイソコに置き換えてきたという経過があり、日野町が交通として確保してきた領域である。そのため料金も行政が負担し抑えている。
- ・一方で、一定の行政負担の中でチョイソコを拡大する中で、今後、土日も運行することは新たに行政負担が発生するため、難しいという判断である。タクシーがあれば解決するが、利益が生まれないう中で運行されないのも、その部分について公共ライドシェアで、タクシーの代替をする。

- ・今回運行するにあたり、予約などについて新たなコストもかかってくるが、既存のチョイソコのシステムで、停留所間の利用に限られる中での運行であれば、安価に抑えられるので、2か月程度この仕組みを活用して実施する。

○会長

- ・チョイソコはまず全町に広げるというように考えている、その段階では空白時間帯があることを承知で進める。そこをこのライドシェアでやってみたいということである。
- ・1,000円も含めて検討したいという主旨で良いか。

○事務局

- ・東西桜谷については、まだ事務手続きが進んでいないのでこの1月から3月は今の停留所間の中で運行するものである。来年度については未定である。

○委員

- ・チョイソコの利用者は平日に利用する中で、会員が1,000円も使って移動するという必要があるのか。それであれば安価にして乗ってもらった方が良いのではないかという意見である。

○会長

- ・制度としてどうしていくのかというところで、実証運行していくところだと思う。

○委員

- ・主な想定利用者が高齢者、学生となっているが、ブルーメの丘などにくる観光客をターゲットにすると良いのではないか。タクシーが常駐していない中で1,000円の説明もつきやすいと思うがどうか。

○事務局

- ・観光に使いたいというところもあるが、チョイソコはブルーメの丘に停留所がない。
- ・実証実験なので暫定的に置くかというところも含めて研究していく。

○委員

- ・平日の夜間の移動に課題があると思うが、このあたりも考えているのか。

○事務局

- ・今回は一旦手段のない日祝を含めた部分で実証実験を行う。来年度以降についても、チョイソコのエリアが拡大する中で実証実験を継続したいと考えているが、平日の朝・夜についてもその中で研究していきたい。

- ・ 9月に行ったアンケート調査でも送迎需要があるが、1,000円という金額がどうかというところもあるので合わせて研究していく。

○会長

- ・ チョイソコひのの停留所ではないが、日野町全域で申請するので町内の観光地に目的地を設置することも可能ということで良いか。

○事務局

- ・ 座標を確認し、設定すれば可能である。時間的な制約もあるが前向きに検討していく。

○会長（副町長）

- ・ 旧鎌掛小学校なども検討してほしい。

○事務局

- ・ 研究していく。ひなまつり紀行が2月から3月にある。バスが走っているのでそちらを利用してもらいたいが、チョイソコの停留所があるので利用は可能である。

⇒協議事項（1）について出席委員全員承認

3. 報告事項

（1）地域公共交通ネットワークの再編に向けた取組方針について

- ・ バスが運行している東西の幹線軸については確保する。
- ・ 現在、小学生児童がバス通学を行っているが、同目的の交通手段について確保する。
- ・ チョイソコひのは町内全域に順次広げていく。
- ・ 町営バスについてはチョイソコひのの導入とともに見直しする。湖南サンライズ線については廃止に向け利用者や区長への説明をすすめ、3月の廃止で問題ないとの判断になれば2月の日野町地域公共交通会議にて廃止協議をする。
- ・ その他の交通手段についてはバス交通の再編、チョイソコひのの導入と連携して検討していく。

（2）地域公共交通に関するアンケート調査結果について

9月に実施した標記アンケート調査について、送迎に関する設問、町営バスに関する設問、ライドシェアに関する設問のそれぞれの集計結果を説明。

（3）その他

第3回日野町地域公共交通会議（書面協議）で行った、令和7年度地域間幹線系統確保維持

費補助金に係る計画変更についての書面表決が全員承認であった旨を報告。

【意見・質問】

○委員

- ・アンケートの結果であるが、家族の送迎の問題は大きい。こういった声も考慮して施策に反映してほしい。

○委員

- ・ある市長がなぜ人口が増えているのにバスの利用者が増えないことに疑問を呈していた。
- ・これは若い時、小さい時から送迎をされていて公共交通の利用を経験をしないままということが影響しているので、小さい時から家族送迎に頼らずとも移動できる状況になるように町の方でも働きかけてほしい。
- ・ライドシェアを知っているかどうかの回答については、公共ライドシェアか、日本版ライドシェアかがわからないので、この回答結果の活用は注意すべきである。

○会長

- ・送迎については、一方で思春期の子供と接する貴重な時間という意見もある。
- ・近江グループに情報共有などお願いしたい。

4. その他

5. 閉会

以上